- 講義のページ: http://exa.phys.s.u-tokyo.ac.jp/ja/lectures/2019s-computer1
- 準備
  - Mac, Windows 上で動作する仮想 UNIX 環境 MateriApps LIVE! の USB メモリを配布するので、 USB メモリ貸出簿の「USB-ID」の番号のついた USB メモリを受け取り、貸出簿に名前を記入 すること (初回の出席の代わりとする)。インストール方法は USB メモリ内の README.html、 setup.pdfを参照のこと。USB メモリは5月中旬を目処に返却すること
  - 2. ECC クラウドメールが読み書きできることを確認する (SSH 公開鍵登録フォームと MATLAB のインストールに必要)。ログイン ID/パスワードが不明な場合には、講義のページを参照のこと
  - ITC-LMS (https://itc-lms.ecc.u-tokyo.ac.jp) にログインし、「計算機実験 I」に自分が登録されていることを確認する (UTAS で履修登録をしても ITC-LMS に反映されるまで 1~2 日はかかる模様)。「setting」で転送先メールアドレスか通知用 SNS(LINE) アカウントを登録し、お知らせが受け取れるようにしておくことが望ましい
  - 4. ECCS 端末 (iMac) ヘログイン。ターミナルを開き、SSH の鍵ペアを作成する
    - \$ ssh-keygen -t rsa

Generating public/private rsa key pair.

Enter file in which to save the key (/xxx/.ssh/id\_rsa): (何も入力せずreturn) Enter passphrase (empty for no passphrase): (パスフレーズを入力) Enter same passphrase again: (パスフレーズを再度入力)

秘密鍵が \$HOME/.ssh/id\_rsa に、公開鍵が \$HOME/.ssh/id\_rsa.pub に作成される

ここで入力する「パスフレーズ」は、ECCS の「パスワード」とは別のものである。「パスフ レーズ」は自分で決める文字列であり、「パスワード」とは異なるものでなければならない。ま た、設定した「パスフレーズ」は忘れずに覚えておくこと

 作成した公開鍵を「SSH 公開鍵登録フォーム」(https://forms.gle/2PURA8TJrAaQA7k57)から登録する。フォームには ECCS クラウドメールのアカウント・パスワードを使ってログインする。締切は「4/12(金)15:00」とする

TIPS: macOS でファイル (\$HOME/.ssh/id\_rsa.pub) の中身をクリップボードにコピーするに は pbcopy コマンドを使えばよい。例:

- \$ pbcopy < \$HOME/.ssh/id\_rsa.pub</pre>
- 基本課題
  - 1. エディタ (Emacs 他) を使ってハンドブック例 3.1.1 のファイルを作成する。C コンパイラでコン パイル・実行 (ハンドブック 3.1.1 節)
  - 2. ハンドブック 3.1.1~3.1.3 節, 3.2.1~3.2.2 節の例題を試せ
  - フィボナッチ数列 (a<sub>n+2</sub> = a<sub>n+1</sub> + a<sub>n</sub> (n ≥ 0), a<sub>0</sub> = 0, a<sub>1</sub> = 1) を計算するプログラムを作成し、 a<sub>20</sub>, a<sub>30</sub>, a<sub>40</sub>, a<sub>50</sub>, a<sub>60</sub> を求めよ。桁あふれに注意すること。結果は、IAT<sub>E</sub>X の tabular 環境を 使って表にまとめよ
- 追加課題(自宅で)
  - C 言語・LAT<sub>E</sub>X・gnuplotのインストールに関する情報 (https://github.com/todo-group/ComputerExperiments/wiki/InstallTeX)を参考に、自 分の PC に環境を整備せよ。基本課題 1~3 を行ってみよ
  - MATLAB Quick-Start Part I (https://elf-c.he.u-tokyo.ac.jp/courses/375) にしたがっ て、PC、タブレット、スマートフォン等に MATLAB をインストールせよ。MATLAB を使って フィボナッチ数を計算し、基本課題3の結果を検証せよ